



社会福祉法人鶴風会

# 後援会ニュース

No.10(昭和55年)  
社会福祉法人鶴風会  
後援会

東京都武蔵村山市学園4-10-1  
☎0425-61-2521  
事務所・東京都中野区  
本町2-15-13 ☎03-372-7650

後援会ニュース10号をお届けします。

今号は子供たちの病院における年中行事と、創立以来、献身的に御活躍いただいた柳沢、三辺両先生の思い出を掲載いたしました。

## 障害者福祉後退の兆

東京学芸大学教授 障害児発達学

小川再治

最近「福祉」への国民的関心が定着したかのように見える。しかし内容まで吟味しないで、ムード的な錦の御旗にされてしまった感があるので、我々には「福祉とは何か」おさえておく必要がある。

今までは一見派手だが、中味のうすい福祉が幅を利かせて来た。しかし、低成長時代の福祉は、地味で質の良いものに、作り変えて行かなければならない。

「障害者福祉」はその良質福祉の中心だと思ふ。我が国の企業の幹部の中には「障害者福祉」と聞いただけで、ショック反応を起す人がいる。最近身体障害者雇用促進法が改正されたので、一定数

の障害者を備わなければ、国に納付金をとられる。障害者を備う為には、金をかけて階段、トイレなどを改造しなければならぬ。選択をせまられた企業の一部は納付金を納めることで障害者雇用を避けようとした。企業のいい分は次のようなものであろう。「今は不況で、我が社もせい肉落しに苦慮している。戦力にならない障害者を備う余裕はない。」

こうした企業だけに都合のよい非福祉的な考え方は、早晚通用しなくなると思ふ。けれどもこの様な「強者の論理」がつぶれ、企業が障害者雇用に積極的になったとしても、なお樂觀できない。企業の中には、障害者に次の様な申し渡しをする所が出て来ると思ふ。「貴方は確に我が社の従業員です。しかし出社には及びません。月給はお宅に送って上げます。」要するに障害者の月給は捨て金として諦め、障害者を形だけ備って会社によせつけたいという作戦である。障害者の生活は安定するかも知れないが、彼らが一人前の社会人として、力一杯働く喜びを味うことは出来ない。

実は欧州の先進国に、私が予想した「福祉の頹廃」と評すべき様相が現れている。

この様な頹廃の発生を未然に防ぐにはどうしたらよいか。

当後援会の方々の様な暖いヒューマニズムを障害者を避けている一部の企業の方々に切に望みたい。



児童の冬の眼

児童の冬の眼

児童の冬の眼

児童の冬の眼

秋季運動会

# 東京小児療育病院の行事

東京小児療育病院 育務科長 一又太郎

東京小児療育病院の行事は生活指導の一環として、子供たちが経験領域を広めるとともに、楽しい集団生活を送れることを目的として行っています。

行事によっては、家庭的雰囲気味わったり、入院中の生活意欲を高めたり、社会行事の意味や内容を理解することが出来るように立案され、その内容によって病院行事、生活指導行事、病棟行事と

各種の戸外保育などを通じて、子供たちが、季節感を味わい、その意味、内容を理解して行くことを目的としています。何よりも楽しい生活を送るために行れるものです。

生活指導行事（おたのしみ会、水遊びなど）は、規模としては病院行事より小さく入院児と職員が参加します。子供たちに楽しみを持たせるとともに、生活に対する意欲を高めることを目的としています。

遠足で水遊びする子供たち



病棟行事（遠足、運動会など）は入院児、親、職員がともに参加して行く、大きな行事で同一場所に入院児、親、職員が集まることにより、三者間のコミュニケーションが生まれ、入院児の療育に向けてより親密な人間関係を作ること

を目的としています。遠足などは日ごろ、障害を持った子供とのレクリエーションを楽しむことを敬遠しがちな親に対して、その必要性を理解して貰うとともに積極的に社会的な場へ参加して貰うよい機会と言えます。

病棟行事（誕生会、花見、みかん狩りなど）はそれぞれの病棟で季節に応じた行事を行うものです。

毎月の誕生会や

東京小児療育病院には三つの病棟があり、東西二つの病棟は幼少の子供たちで、あとの一つが学童病棟です。学童病棟でも幼少児病棟と同じく行事は三つに分けて実施していますが、この病棟の子供たちは養護学校へ通っていますので、病院での生活時間の大半が午後になることや、遠足などは学校でも同時に行われることから、原則として病院の企画する行事にはすべて参加することになっていないが、状況次第で不参加の場合があります。

この病棟では春休み、夏休み、冬休みにそれぞれ行事を計画しています。

最後に昭和五十五年度の行事予定をお知らせします。

東京小児療育病院行事予定

(昭和55年)

	病 院 行 事	生活指導行事	病 棟 行 事	
4月		がんばる会	誕 生 会	※花見 △交流会
5月	○えんそく		〃	子供の日
6月		おたのしみ会	〃	※しようぶ見
7月		水 遊 び	〃	七 夕
8月	花火大会		〃	△夏季自然教室
9月	○運動会		〃	※梨狩り
10月	○えんそく		〃	
11月		がんばる会	〃	七五三※みかん狩り
12月	○クリスマス会		〃	
1月	もちつき		〃	△交流会
2月			〃	節 分
3月		×おたのしみ会	〃	ひなまつり※買物

○父母も参加    ×学童不参加    ※幼少児のみ参加    △学童のみ参加

### 柳澤濱子先生を悼む

社会福祉法人鶴風会  
評議員

中里 玉子

柳澤濱子様は台東区の地域福祉事業に、又社会福祉法人鶴風会の理事として活躍された方です。終戦直後広々とした畑の中で東京小児療育病院が設立され、建設に運営に種々の困難を乗り越えて現在に至るその間終始病院そして後援会の為に御尽力いただきました。時にもうお手伝いするの

### 三辺幸子先生を偲んで

社会福祉法人鶴風会  
評議員

鈴木 文子

昨年九月下旬、医師の研修会会場であった下呂温泉で私にとって、かけがへのない友人三辺幸子先生が急逝されました。無情の風にただ吹かれ泣き続けた私も今は静かに御冥福を祈っております。おもえば四十有余年の親しいお付き合いでございました。その年月の中

止めましようかと御相談した時など、毅然として折角ここまでしてきたのに、苦難の時代の歴史を老兵は見守って新しい東邦大学の後輩にバトンタッチするまでのパイプの役に頑張らなくてはとお互いにはげましましてまいりました。最近七・八年は毎年夏休みを海外で御一緒に過してまいりました

が、旅行先では必ず第一にその国の福祉の状況を現地のガイドさんに質問なさり、又東京小児療育病院の運営・治療について如何になすべきかが話題になりました。悲しい事に昭和五十四年十一月

にも重厚なお人柄はいつも中心的存在でいらつしゃいました。十五年前、東京小児療育病院開院式の時、あやつとここまで漕ぎつけたと手を取り合い感涙にむせんだことが昨日の事のように思われまます。同窓生でしかも先輩

(私)後輩(三辺)として知る人ぞ知る大の仲良し。龍先生の「女医として一番日の当らぬ脳性マヒ児の為の療育病院をつくりましよう。」との呼びかけに、私共は創立までの緑の下の役割なりとお手伝いしてまいりました。財団法人脳性マヒ児を守る会理

二十二日、南極観光飛行機の事故で御主人様共々遭難なされ、私共としては大きな星を失った思いです。

同じ旅行グループの沼津市の川口和子様(眼科医)のおよせいだいた歌を捧げ、謹んで柳澤濱子様の御冥福を御祈りあげます。

遠く飛んで還らぬ鳥が鳴き交す  
響は冥く 胸底に聴く

南極のエレバス山に降る雪か  
見えかくれつつ消えて果ぬる

事・社会福祉法人鶴風会評議員としてこの十五年、時に御自分の診療を犠牲にして幾度か村山の東京小児療育病院へ足を運んだ事でしょう。本日に今日の病院の成長をみるにつけ、院長の御苦労もさることながら三辺先生のように無償の奉仕をたゆまず続けられた役員の方々の御尽力があったればこそと感無量の思いでございます。社会福祉事業に深い御理解と御助力を惜しまなかつた三辺先生の御魂はきつと空の星となって病院の今後を見守ってくださることでしよう。

合掌

### ▼お知らせ▲

☆昭和五十四年度の募金総額は六百三万四千四百円。御寄附いただいた方の延べ人数は八百六十八名になりました。なおほかにチャリティバザールへの御寄附として二十九万円(後援会のみ)ございました。

☆昨年十月七日のチャリティバザールの純益は五百十五万四千五百四十六円(内寄附金は百五万九千四百六十七円)ございました。会員皆様の温かい御支援と、百六十八社の会社が数多くの品物を御協賛くださった賜と厚く御礼を申しあげます。お蔭様で子供達の療育のための水治訓練棟も完成し、今後の療育の効果を楽しみにしております。

☆本年も秋にチャリティバザールを計画しております。誠に恐縮でございますが皆様方の御家庭で御使用にならない雑貨・陶漆器・石鹼・玩具・衣料品・食料品・ウイスキー・手芸品・ペーパー用品などございましたら御寄附いただけますようお願い申し上げます。

☆後援会ニュースは年二回発行しております。紙面に皆様の後意見をとりあげてゆきたいと思っておりますので、お気付きの点、又病院見学の御希望などございましたら、後援会迄御連絡ください。

☆皆様よりの御要望がございますので、今後、郵便振替用紙を毎回、後援会ニュースに同封いたしますので御了解ください。

後援会寄付者御芳名

バザール寄附者をくむ  
五二二名(五八五三)

- 荒井秀雄・安西美代・相沢ミツエ  
安倍マサ・青木悦・阿部賢昭  
阿久津絹江・天野悦男・青木瞬  
阿部重正・天沼恭子・朝倉富美子  
芦立かつ・青木継稔・有村章  
赤尾幸枝・赤尾和子・池田謙三  
飯田昭子・一藤木俊夫・井口洋一  
犬飼礼子・井上瑞穂・井上洋一  
井上トヨ子・今野信子・井上トキ  
飯国桃夜・板倉玉子・今井俊子  
稲垣玲子・石川静子・石北寿子  
伊藤徳子・石田文枝・諫山高雄  
諫山和子・稲葉眞理・池田聖  
石原純・伊藤友二・井上裕子  
岩重泰子・一宮勝也・伊藤公子  
石川キク・市川ハナ子・今野英子  
石原道俊・石原恵子・池上博子  
伊藤梅雨子・石塚洋一・池田信也  
石原たけち・生島ミヨ・伊藤マサ  
今井幸子・飯塚英子・稲葉幸子  
居合寿子・飯田久代・伊東美智江  
石塚通子・伊藤篤子・今野綾子  
今野鏡子・逸見和子・井福テイ  
石橋敏子・井口ちよ・上高嘉納子  
内ヶ崎仁子・内田孝・浦田とめ子  
牛込莊一郎・梅宮次郎・梅原松江  
瓜田キヨ・内田博之・梅田寛子  
白井信郎・漆畑勲・上田哲郎  
漆畑修・白井重三・宇都宮幸枝  
小侯喜久子・大月佐東子・大久保秀雄  
萩原すみ子・小田幸子・及川貞  
大岡良子・小山五郎・小原正樹  
大池千賀子・太田文江・岡崎君代
- 大脇照枝・小俣文栄・小川清  
大熊進・大熊はつみ・長田安代  
大木秀子・大曲治世・奥原長美  
沖津くら・大関忍・岡庭昭紀  
小沢一男・及川公美子・大嶋美屋子  
大目志津子・小口政子・大谷以弥子  
大島誠行・大塚トシ・小原詠一  
大友節子・岡田さと子・大森 堯  
小沢 ぎみゑ・大室興業株式会社  
加藤太郎・川合朝子・川島英世子  
河原 節・加藤無名子・勝見富美  
川島文子・加納桂子・釜登澄志子  
柏木美香子・亀谷 了  
加藤薬品株式会社・金子忠子  
川路春男・勝田三枝子・金子田鶴子  
河合典子・神田敬子・川南サチ  
亀井節子・河津 緑・加藤さかゑ  
亀岡智子・鎌田重康・金森勝士  
金田ふみ・菊地久子・北川フサ  
岸田千代子・岸本義一・木村甲子郎  
岸本茂次郎・岸 直枝・岸本 孝  
紀部葉月枝・岸 芳正・桐村正憲  
木村美恵子・倉島摂子・日下孝子  
工藤訓正・呉みどり・呉 美村  
工藤節子・栗田 菊枝・葛野シヅ  
国方澄子・黒田 昌・楠 后代  
久保田奈美代・工藤 裕・桑原利章  
工藤玄恵・五島瑳智子・小山伊松  
小林昭子・後藤重弥・児玉筆子  
小林義郎・近藤澄子・小櫃温江  
後藤マン・後藤千恵子・小林京子  
呉 政子・小池 脩・小松栄一  
具味子・後藤幸子・後藤すみ子  
河野友治・小泉一介・小泉美子  
古賀美津子・神津 弘・小川 理  
近藤須磨子・小針照子・佐々木明子  
左京 福・桜井様子・斎藤英子  
斎藤 道正・佐々木富美子・佐藤タミエ  
佐藤美枝子・指田和明・斎藤幸市  
佐々木庄八・桜井由美子・佐藤照子
- 大脇照枝・小俣文栄・小川清  
大熊進・大熊はつみ・長田安代  
大木秀子・大曲治世・奥原長美  
沖津くら・大関忍・岡庭昭紀  
小沢一男・及川公美子・大嶋美屋子  
大目志津子・小口政子・大谷以弥子  
大島誠行・大塚トシ・小原詠一  
大友節子・岡田さと子・大森 堯  
小沢 ぎみゑ・大室興業株式会社  
加藤太郎・川合朝子・川島英世子  
河原 節・加藤無名子・勝見富美  
川島文子・加納桂子・釜登澄志子  
柏木美香子・亀谷 了  
加藤薬品株式会社・金子忠子  
川路春男・勝田三枝子・金子田鶴子  
河合典子・神田敬子・川南サチ  
亀井節子・河津 緑・加藤さかゑ  
亀岡智子・鎌田重康・金森勝士  
金田ふみ・菊地久子・北川フサ  
岸田千代子・岸本義一・木村甲子郎  
岸本茂次郎・岸 直枝・岸本 孝  
紀部葉月枝・岸 芳正・桐村正憲  
木村美恵子・倉島摂子・日下孝子  
工藤訓正・呉みどり・呉 美村  
工藤節子・栗田 菊枝・葛野シヅ  
国方澄子・黒田 昌・楠 后代  
久保田奈美代・工藤 裕・桑原利章  
工藤玄恵・五島瑳智子・小山伊松  
小林昭子・後藤重弥・児玉筆子  
小林義郎・近藤澄子・小櫃温江  
後藤マン・後藤千恵子・小林京子  
呉 政子・小池 脩・小松栄一  
具味子・後藤幸子・後藤すみ子  
河野友治・小泉一介・小泉美子  
古賀美津子・神津 弘・小川 理  
近藤須磨子・小針照子・佐々木明子  
左京 福・桜井様子・斎藤英子  
斎藤 道正・佐々木富美子・佐藤タミエ  
佐藤美枝子・指田和明・斎藤幸市  
佐々木庄八・桜井由美子・佐藤照子
- 佐古 崇・佐古政穂・佐倉 博  
斎藤永津子・佐藤 香・佐々木キサ  
境 敏秀・佐藤ツヤ子・坂井タマノ  
斎藤みどり・酒井雅未・桜井瑛子  
笹沼 修・斎藤富美・佐久間はな  
斎藤多世・斎藤達子・堺 晴子  
齋島桃子・沢田 克己・佐伯誠也  
佐伯輝子・猿橋勝子・柴田富美  
篠田陽子・白石 勲・白石芳子  
篠塚清志・正田二寿子・東海林幸子  
柴田とら・下田喜久代・嶋野 栄  
下村節義・塩入円裕・新谷芳子  
下島 勝・柴田仁太郎・清水工経  
島津和貴子・柴 一葉・鈴木文子  
須藤さみ子・鈴木繁雄・鈴木志賀子  
末吉実子・鈴木信宏・鈴木まち子  
鈴木かつえ・鈴木淑子・須田経宇  
菅 邦夫・鈴木美佐江・鈴木誠一  
鈴木 稔・鈴木 巖・杉本とし  
須藤 操・鈴木峰子・鈴木達夫  
セントラル病院・関口喜久子  
瀬戸富喜代・関 敦子・関根嘉子  
宗 恒雄・多田久男・高橋百合子  
田鍋庸子・高橋和子・田中彰夫  
高垣 益子・田中三重子・田田北恵  
竹中久三・高木 輝雄・武田和照  
高木松枝・田郷寿正・竹下こと  
多田 正子・田崎トシ・田島高子  
田村奈保美・田中 勲・竹下まさゑ  
田部昭山・田中 浩・田中さだ  
高月正宏・辰木寿美・竹内神奈  
高橋嘉子・田宮修子・高須登代子  
田中成子・田宮 親・高木雅代  
田村京子・高柳政雄・千島エ子  
近内友子・千秋キヨ子・塚本貞子  
津金修作・筒井こてふ・樋谷清雄  
土屋満枝・鶴岡康子・塚越京子  
津司豊子・鶴井幸子・津崎信子  
出構昭子・手塚羔治・土肥幸枝  
戸田芳江・外山千枝子・道下富信
- 德重隆幸・戸塚静枝・富岡瑞子  
中野敏江・中川富士・長野文子  
中川甲子・長井千鶴子・永田保子  
中倉千鶴子・中島桂子・中村映子  
中村陽二・二宮文乃・新実静江  
西本麗子・西平守夫・信岡やう子  
野村真世子・野口 道子・長谷川千余子  
林 壘子・林 光子・馬場紀子  
蜂谷イソ子・半沢紀子・羽鳥順子  
林 益美・原 信子・半田登喜代  
濱田 美・原田 品子・橋詰直孝  
畑下敏行・橋本フジ子・服部睦子  
羽生章子・林 千代子・長谷川俊一  
原 とよ子・林 晴男・馬場 建  
日根野妙子・東出篤衛・東出祥子  
平山ゆき・弘瀬律子・日野久子  
平岡真理子・平出 光・平島歌子  
樋川 歌・笛木トキ・古野寿子  
深見利子・藤井京子・藤田トミ  
藤田よし江・藤沢唯子・藤田寛子  
藤巻いく・福田ハツエ・福田孝子  
古川静枝・堀 友之進・堀内千鶴子  
本田ヒサ・発地瑠璃子・堀尾ふみ子  
堀野貞子・本間厚子・松岡知恵子  
松岡玉枝・松沢義人・松野マサヨ  
増田富士子・丸山和子・前田寿馬  
牧野忠夫・松本美枝・松藤千代子  
杉山雅彦・馬淵ミツノ・松井寿美子  
松井健二・松村あや・的場八千代  
松尾幸子・松崎ウメ子・松浦聡照  
宮崎 房子・宮崎明子・三浦真一  
三戸 緑・宮本みち・宮川千鶴子  
宮田 誠子・三田 祝・溝口美文  
宮沢 香・宮下裕江・三輪篤信  
三橋神彦・三好幸子・宮前智恵子  
宮崎 方・都田睦子・三田美子  
宮原礼子・村上リョウ・武藤京子  
村田憲三・村松慶徳・村島良子  
本橋 猛・守屋孝子・百瀬貞子  
森川幸江・森田てい・守田文彦
- 森 金弥・森神千代・森 千恵子  
山田寛司・山下 文子・八木 薫  
山口 登代・山口 辰雄・山口 銀子  
安田千鶴子・山田純子・柳原福代  
山田三枝子・薬師寺成子・藪本瑛子  
山本徳治郎・矢島 正・山住美津子  
山崎義郎・山川昌一・山田喜久代  
屋代英也・柳瀬路子・山本節子  
山名実枝子・山崎倫子・柳沢信子  
山口中子・安富佳子・矢高レイ子  
柳沢博子・矢野春雄・山田琴子  
山田カツ・山中さだ・柳田謙蔵  
柳田 淑・山本貞子・山崎万里子  
矢島 定子・谷口 量子・良田圭子  
吉田 実子・依田 幸子・横山正子  
吉田喜一郎・米山士朗・米沢マチ  
米山杏子・吉森隆恵・横室優子  
横井幸雄・吉村陽子・吉川 正子  
吉見 梓・柴満礼子・龍 紀子  
渡辺和子・渡辺古都江・渡辺 茂  
渡辺静子・渡辺 明・鷺津栄作  
渡辺 溪子・渡辺 嘉子・若林リツ  
渡辺 キヨ
- 《病院扱寄附者御芳名》  
読売光と愛の事業団・船舶振興会  
お年玉寄附金・千代田火災海上保険(株)  
東京医薬品工業協会・三菱養和会  
中野ライオンズクラブ・サトーパ  
ー(株)・大関 豊子・高橋三代子  
柴田洋子・横前 稔・日本チャリ  
協会・浜 時夫・柳沢濱子  
堀越 洋・横沢直治・吉田史人  
アドリア常連一同・父母の会  
大塚浩二・鈴 木・交 運 社  
東大和高校生徒会・太田 孝一  
里見さわ・鈴木光雄・立川サンツ(株)  
武蔵野女子大学・三菱信託社員一同  
大塚康寛・鈴木十九三・鈴木孝一  
富田 菱山・福田千里・榊 屋  
ボランテア・匿名 募金箱